

Monthly Report

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2023年2月末

ファンドの概要

設 定 日	2017年9月29日
決 算 日	年1回 7月20日(休業日の場合は翌営業日)
信 託 期 間	無期限
収 益 分 配	決算日に収益分配方針に基づいて分配を行います。

ファンドの特色・投資方針

- わが国の中小型株を中心に成長性の高い銘柄などに幅広く投資します。
- 中小型株の投資魅力である企業の成長性に主として着眼し、また、割安な企業、変化する企業を選別します。
- 中長期的観点からの投資を基本としますが、企業の経営姿勢や業績の変化、株価水準等から総合的に判断し、個別銘柄に対する投資比率の調整を行います。
- 数倍化する可能性のある銘柄の発掘に努めます。

パフォーマンス

データ基準日:2023年2月28日



基準価額	15,885円
前月末比	+440円
純資産総額	10,842万円

資産構成	
株式	81.4%
その他	18.6%

期間別騰落率(%)					
1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
+2.8	+3.5	+4.9	+16.3	+29.8	+58.9

分配金	
第1期	0円
第2期	0円
第3期	0円
第4期	0円
第5期	0円
設定来	0円

設定・運用は
TORANOTEC投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号
【審査NO.2023-1-042】

TORANOTEC
ASSET MANAGEMENT

市況と運用方針

■運用状況■ 米国の利上げ長期化観測が強まる。高PER銘柄が売られる一方、好決算・割安銘柄が物色される。

2月の株式市場は、1月の堅調地合いの流れを受け続伸して始まった後、米国で市場予想を上回る経済指標の発表が相次いだことで米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ長期化観測が強まるなか、米長期金利の上昇で米ハイテク株を中心に下落し、国内でも高PER（株価収益率）銘柄が売られました。一方、投資指標面で割安な銘柄への物色意欲が強まり相場を下支えしました。新興・中小型株は、好決算を発表した銘柄や投資指標面で割安な銘柄などが物色され堅調な展開となりました。ただ、成長期待の高い企業が多い東証マザーズ指数は、中旬以降、米長期金利の上昇で相対的な割高感が意識され、利益確定や戻り待ちの売りに押され下落しました。

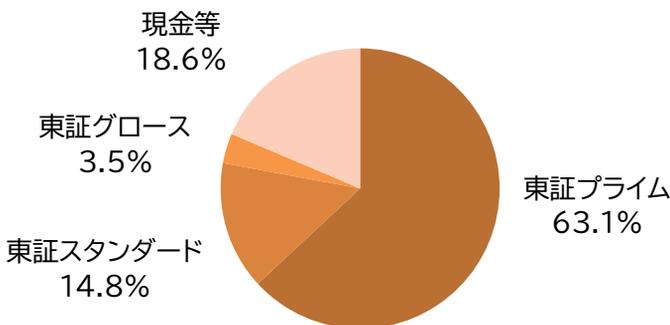
当ファンドは、決算発表で当期業績の進捗率の高さを好感し株価が急伸した健康関連銘柄や組入上位銘柄などの持ち高調整を行う一方で、環境・リサイクル関連銘柄や既保有銘柄などを新規に買い増したことにより、2月末の株式組入比率は81.4%となりました（23年1月末：81.2%）。主要投資対象指数の騰落率（前月末比）は、中型株指数：+1.4%、小型株指数：+1.7%、東証マザーズ指数：-3.5%となりました。

■今後の運用方針■ 金融政策、市場再編を巡る東証の動向を注視。好業績銘柄、株主還元強化を図る銘柄に注目。

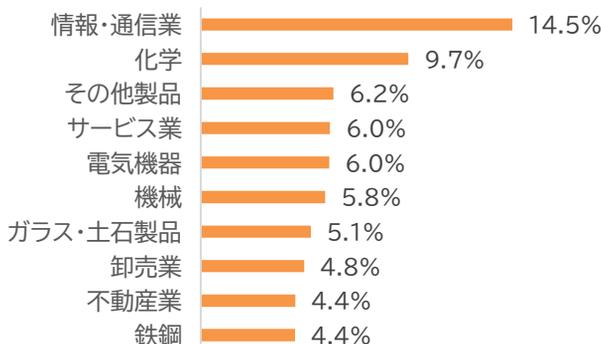
欧米の金融引き締め長期化が景気や企業業績の悪化を招くと懸念されるなか、中国では「ゼロコロナ対策」解除により、経済の正常化が進むとともに景況感が改善し景気回復期待が高まっています。国内においても、個人消費など内需が底堅く推移するなど強弱が入り混じった状況にあります。このような環境の下、株式相場は米利上げ継続を懸念しつつも米長期金利の上昇一服などから米国株が反発するとともに、1月中旬以降の円安傾向を背景に、輸出企業を中心に業績の下振れ懸念が薄らぎ上値を試す動きとなっています。ただ、これから発表される経済統計や21～22日に開催予定の米連邦公開市場委員会（FOMC）など、米金融政策を巡る不透明感から徐々に上値の重い展開となりそうです。

新興・中小型株は、年初から反発していた高PERの成長銘柄が米長期金利の上昇で相対的な割高感が意識される一方、指標面で割安な銘柄が堅調な動きとなっています。金利の上昇は成長株にとっては株価の重しとなっているものの、金利上昇が一服する局面では値ごろ感からの押し目買いも入りそうです。足元では、株価純資産倍率（PBR）が1倍を下回るバリュウ（割安）株が堅調な動きとなっています。米長期金利の上昇でPERの高いグロース（成長）株を積極的に手掛けづらいなか、市場再編を巡り、継続的に1倍を割る企業に改善策を促すことを目指す東京証券取引所の方針に市場の注目が集まっています。企業価値向上のために資本政策の見直しを行い、自社株買いや増配など株主還元の強化を一段と進めてくれることが予想されます。3月は配当権利取りを狙った買いも見込まれ、好配当銘柄への物色が強まるものと考えています。運用においては欧米の利上げ長期化への懸念が強まる中、株価が上昇基調にある銘柄も多く、投資環境を見ながら好業績・業績回復が期待される銘柄や低PBRで増配・自社株買いなど株主還元の強化を図る銘柄などに注目いたします。また、中長期投資を基本としつつ、環境の変化に対応できるよう心掛けてまいります。

市場別比率



組入上位10業種（全19業種）



※市場別および組入上位10業種の比率は当ファンドの純資産に対する比率です。

当資料は当該ファンドに関する運用状況の情報提供を目的として、TORANOTEC投信投資顧問が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完全性を保証するものではありません。また、当資料の運用実績・データ等は過去のものであり、将来の市場環境の変動やファンドの値動き等を保証するものではありません。当資料は事前の通知なしに内容を変更することがあります。投資信託は、株式など値動きのある証券等に投資をしますので基準価額は変動し、また元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。当ファンドのお申し込みの際には、販売会社より投資信託説明書（交付目録見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

Monthly Report

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2023年2月末

ファンドマネージャーの視点	組入比率上位10銘柄	(全47銘柄)		
1 システムサポート	4396	東証プライム	情報・通信業	3.9%
独立系のICT(情報通信技術)企業。オラクルのデータベースのほか、SAP、アマゾンのAWS(アマゾンウェブサービス)のパートナーとして企業をサポートしており、需要が拡大するクラウドサービスの恩恵が見込まれる。				
2 大阪ソーダ	4046	東証プライム	化学	3.2%
電気分解技術を基に基礎化学品、機能化学品、ヘルスケア関連(医薬中間体)、環境関連など幅広く展開。機能化学品の多くは原料から一貫生産によってグローバルニッチトップ商品を数多く保有(自動車用燃料系ホース、吸排気系ホース、UVインキの原料であるダブ樹脂など)。				
3 オカダアイオン	6294	東証プライム	機械	3.0%
1960年設立の解体・破砕用建設機械及び林業機械の製造、販売、修理。気候変動の影響を緩和するため林業再生に貢献。水力発電所の老朽化に伴い、ケーブルクレーン(ダム両岸に鉄塔を立て、ダムをまたぐようにしてケーブルを張り、荷物を運搬する機械装置)を使ったリニューアル工場の需要が見込まれる。築40年以上の解体建物の需要がこれから本格化。				
4 ニチコン	6996	東証プライム	電気機器	3.0%
コンデンサ大手。コンデンサは電気を蓄えたり、放出したりする部品。アルミ電解コンデンサやフィルムコンデンサ、小型リチウムイオン二次電池など。電気自動車(EV)や次世代通信規格「5G」など情報通信機器及び再生可能エネルギー市場に向けて需要が拡大。				
5 オリコン	4800	東証スタンダード	情報・通信業	3.0%
ヒットチャートなど音楽情報サービスなどを提供する持ち株会社。顧客満足度(CS)調査事業ではランキング掲載サイトの運営、ニュース配信・PV事業、音楽・映像・書籍のマーケティングデータ及びライセンス情報の提供を展開。				
6 クイック	4318	東証プライム	サービス業	2.9%
人材サービスの総合企業。建設や看護師など採用難易度が高い業種など特定領域の人材紹介を主軸に人材派遣・広告などを展開。新型コロナ禍2年経て人材紹介の需要が拡大、新たな特定領域(IT関連・開発など)や海外での人材紹介を拡大。				
7 サンフロンティア不動産	8934	東証プライム	不動産業	2.6%
不動産の売買、賃貸仲介からビル管理、改修工事へ展開。都心オフィスビル事業(都心5区を中心に)を中核にホテル事業(開発・再生・運営)、海外事業(ベトナムやインドネシアにおける住宅など)へと事業領域を拡大。				
8 グローブライド	7990	東証プライム	その他製品	2.6%
「DAIWA」ブランドの釣り具で世界トップシェア。10期連続増収・5期連続増益・実質11期連続増配。ゴルフ、テニスなどスポーツ・アウトドア・レジャーの世界的需要は堅調で攻めの経営を堅持。環境配慮型製品や3R(リデュース=発生抑制、リユース=再使用、リサイクル=再生利用)、太陽光発電など環境への取り組み強化。				
9 前田工織	7821	東証プライム	その他製品	2.4%
河川、道路補強等の防災用建築・土木資材の大手。公共事業向けの土木資材が好調。ドイツの塗装工場の本格稼働、原材料費の高騰は製品価格に転嫁。子会社BBSジャパン(自動車ホイール)は自動車レースのF1(フォーミュラワン)にホイールを独占供給(22年から4年間)。				
10 ノリタケカンパニーリミテド	5331	東証プライム	ガラス・土石製品	2.1%
1904年に洋食器の製造を目的に創立。研削砥石トップ。食器の製造技術で培った独自のコア技術を磨き、研削・研磨工具、セラミック原料や電子ペーストなどの部材、加熱、混練などの製造装置メーカー。2024年に創立120周年を迎えるが、組織風土を改革するために若手を積極的に登用し、年功序列からの脱却を目指す考え。				

※組入比率は当ファンドの純資産に対する比率です。

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、株式や公社債など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、**ファンドは、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

- ① 株価変動リスク... 株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けたり、また株式の発行企業の業績悪化、信用状況の悪化などで、基準価額が下落する可能性があります。
- ② 金利変動リスク... 金利変動により債券価格が変動するリスクをいいます。一般に金利が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- ③ 信用リスク... 公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)をいいます。
- ④ 流動性リスク... 有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。
- ⑤ 投資信託に関する一般的なリスク
- ⑥ 運用体制の変更ならびに運用責任者の交代に関するリスク

お客さまにご負担いただく費用について

直接的に負担する費用

購入時手数料	取得申込受付日の基準価額に、 3.30%(税抜3.00%) の率を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細につきましては、販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	ファンドを保有している期間、保有している金額に対して 年率0.88%(税抜0.80%) 。(配分(各税込):委託者0.4235%・販売会社0.4235%・受託者0.0330%)
その他の費用 ・手数料	信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等を含みます。)有価証券売買時の売買委託手数料等 ※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※詳しくは交付目論見書をお読みください。

<投資信託に関する留意事項>

投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

- ・投資信託は預金ではありません。
- ・投資信託は預金保険の対象となりません。
- ・投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、投資元本及び分配金が保証された商品ではありません。
- ・投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ・投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

Monthly Report

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信／国内／株式

2023年2月末

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金単位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

委託者、その他関係法人

委託者	TORANOTEC投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 (投資信託設定、投資信託財産の運用指図等を行います。)
受託者	株式会社りそな銀行(再信託:株式会社日本カストディ銀行) (投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、株式会社日本カストディ銀行に委託することができます。)
販売会社	(受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求ならびに償還金および一部解約金の支払い等を行います。下記表は当ファンドの販売会社の一覧表です。)

販売会社一覧

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人日本STO協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○		
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	○				
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○
TORANOTEC投信投資顧問株式会社 ※ ※新規取得のお申込みは現在取扱っておりません。	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号		○			

＜ファンドに関する照会先＞

ホームページ <https://www.toranotecasset.com>

電話番号 03-6432-0782(受付時間:営業日の9時～17時)